

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	企業戦略基礎（Corporate Strategy）		
ナンバリングコード	E30208	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 経営学
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	コース必修: Bソリューションコース 選択: 地域マネジメントコース、会計ファイナンスコース、スポーツビジネスコース、こども・福祉コース コース選択必修: 情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E045251	クラス名	-
担当教員名	泉 丙完		
履修上の注意、 履修条件	教わるだけでなく活発なディスカッションを通して実践的な事業戦略立案能力を身に着けること。 講義では携帯・私語は厳禁。 ただし、演習では活発に討議や発表に参加すること。		
教科書	参考資料配布		
参考文献及び指定図書	経営戦略の基本（経営戦略研究会、日本実業出版社） 戦略策定概論（波頭亮、産能大学出版部） イノベーションマネジメント入門（一ツ橋イノベーション研究センター、日本経済新聞社）		
関連科目	経営学入門、eビジネスマーケティング論、経営学総論		

○基本情報							
授業の目的	企業戦略とは、新たなビジネスを創出し、効率的な経営により企業価値を高めていくための方法論である。本講義の目的は、企業戦略の各手法に基づき、社内外の状況を分析し、戦略を策定し、具体的な行動計画に落とし込むための知識や能力を習得することである。本講義においては、企業戦略の各手法に関する説明だけでなく、模擬的な事業戦略立案の演習を通して、実践的な企業戦略立案能力を身に着けることを目的とする。						
授業の概要	本授業では、まず、講義形式により企業戦略を立案するうため各種手法について学んだ後、演習形式により疑似的な企業戦略を立案する。具体的には、講義形式による授業では、社内外における各種環境分析、目標設定、経営効率化、企業戦略策定プロセス、企業戦略評価やイノベーション戦略について学んだ後、演習形式の授業において、グループ単位で模擬的に企業戦略の立案を行う。演習形式の授業では、グループ毎の分析や事業戦略を発表し、ディスカッションすることにより、実践的な企業戦略立案能力を修得するようにする。						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「講義形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「該当しない」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>「実習、フィールドワーク」</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「講義形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
(1) 授業の形式	「講義形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」						
(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」						
地域志向科目	該当しない						
実務経験のある教員による授業科目	泉丙完 本授業のITビジネスに関連し、三菱電機(株)でIT関連の技術開発に従事する。 企業戦略に関連し、(株)泉精器製作所で起業戦略立案に従事する。						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	企業価値を高めるための事業戦略立案に興味を持つこと。		10点	10点
【知識・理解】	企業戦略を立案するための各種手法に関する基礎知識を修得する。	30点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	現状分析に基づき企業戦略を立案し、プレゼンし、ディスカッションすること。			10点
【思考・判断・創造】	企業価値を高める企業戦略を立案できるようになること。	20点		10点

○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法）
各講義毎の改題レポートおよび期末試験の総合評価による。また、出席状況・受講態度も考慮する。各演習における発表内容やディスカッションへの参加態度も考慮する。
プレゼンについては授業中において評価、講評等を行い、レポートについては評価の上、本人に後日フィードバックする。

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科目名 担当教員	企業戦略基礎（Corporate Strategy） 泉 丙完	授業コード	E045251
学修内容					
1. オリエンテーションと概要					
企業戦略概要。企業戦略とは何か、目標や基本的な流れ、ポイントについて学ぶ。 また、授業の進め方やグループ単位による演習の進め方等についても説明する。					
予習		「経営戦略の基本」pp.12～21の事前調査			約2時間
復習		「経営戦略の基本」pp.12～21における具体的な事例の調査			約2時間
2. 外部環境分析					
企業を取り巻く外部環境分析として、PEST（政治、経済、社会、技術）分析や5Fources分析、3C分析やSWOT分析について学ぶ。授業ではこれら各分析手法の方法について事例等を用いて分かりやすく、実践的な活用方法を理解してもらいようにする。					
予習		「経営戦略の基本」pp.39～45の事前調査			約2時間
復習		「経営戦略の基本」pp.39～45における具体的な事例の調査			約2時間
3. 外部環境分析演習					
第2週において学んだ「外部環境分析」の各手法を用いて、グループ単位で疑似的にある企業を対象とした外部環境分析を演習形式で実施する。演習では、グループ単位でまとめた外部環境分析を発表し、ディスカッションを行う。					
予習		「経営戦略の基本」pp.39～45の事前調査			約2時間
復習		「経営戦略の基本」pp.39～45における具体的な事例の調査			約2時間
4. 内部環境分析					
企業における内部環境分析として、バリューチェーン分析、VARIO（経済価値、希少性、模倣困難性、組織）分析等について学ぶ。授業では実践的な分析手法の方法を、事例等を用いて分かりやすく理解してもらいようにする。					
予習		「経営戦略の基本」pp.46～49の事前調査			約2時間
復習		「経営戦略の基本」pp.46～49における具体的な事例の調査			約2時間
5. 内部環境分析演習					
第4週において学んだ「内部環境分析」の各手法を用いて、グループ単位で疑似的にある企業を対象とした内部環境分析を演習形式で実施する。演習では、グループ単位でまとめた内部環境分析を発表し、ディスカッションを行う。					
予習		「経営戦略の基本」pp.46～49の事前調査			約2時間
復習		「経営戦略の基本」pp.46～49における具体的な事例の調査			約2時間
6. 目標設定と事業計画					
企業戦略におけるドメイン（事業領域）や目標をどのように設定し、その目標を実現するため、どのように事業計画に落とし込むかを学ぶ。また、その計画を実現する指標としてKPIをどのように設定し運用するかを学ぶ。					
予習		「経営戦略の基本」pp.94～101の事前調査			約2時間
復習		「経営戦略の基本」pp.94～101における具体的な事例の調査			約2時間
7. 目標設定と事業計画演習					
第6週において学んだ「目標設定と事業計画」の方法を用いて、グループ単位で疑似的にある企業を対象とした目標設定と事業計画の策定を実演習形式で施する。演習では、グループ単位でまとめた目標設定と事業計画を発表しディスカッションを行う。					
予習		「経営戦略の基本」pp.94～101の事前調査			約2時間
復習		「経営戦略の基本」pp.94～101における具体的な事例の調査			約2時間
8. 経営効率化					
企業のパフォーマンス向上の観点から、経営資源をどのように配分することにより全社的な最適化できるかを学ぶ。授業では実践的な経営効率化の方法を、事例等を用いて分かりやすく理解してもらいようにする。					
予習		「経営戦略の基本」pp.110～118の事前調査			約2時間
復習		「経営戦略の基本」pp.110～118における具体的な事例の調査			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	企業戦略基礎（Corporate Strategy） 泉 丙完	授業コード	E045251
学修内容				
9. 経営効率化演習				
第8週において学んだ「企業経営効率化」の方法を用いて、グループ単位で疑似的にある企業を対象とした経営効率化を演習形式で検討する。演習では、グループ単位でまとめた経営効率化案を発表しディスカッションを行う。				
予習	「経営戦略の基本」pp.119～123の事前調査			約2時間
復習	「経営戦略の基本」pp.119～123における具体的な事例の調査			約2時間
10. 企業戦略策定				
企業戦略を具現化するため、どのように定量的な目標を設定し、中長期の事業戦略を立案し、管理を行っていくかを学ぶ。授業では実践的な企業戦略策定の方法を、事例等を用いてい分かりやすく理解してもらいようにする。。				
予習	「経営戦略の基本」pp.124～131の事前調査			約2時間
復習	「経営戦略の基本」pp.124～131における具体的な事例の調査			約2時間
11. 企業戦略策定演習				
第10週において学んだ「企業戦略策定」の方法を用いて、グループ単位で疑似的にある企業を対象とした企業戦略策定を演習形式で検討する。演習では、グループ単位でまとめた企業戦略案を発表しディスカッションを行う。				
予習	「経営戦略の基本」pp.132～146の事前調査			約2時間
復習	「経営戦略の基本」pp.132～146における具体的な事例の調査			約2時間
12. 企業戦略評価				
企業戦略の競争的優位性を構築するため、設定した目標に対する評価方法を学び、評価に基づいて複数の戦略代替案の中から有効な企業戦略を決定するプロセスを学ぶ。授業では実践的な企業戦略評価の方法を、事例等を用いてい分かりやすく理解してもらいようにする。				
予習	「経営戦略の基本」pp.164～165の事前調査			約2時間
復習	「経営戦略の基本」pp.164～165における具体的な事例の調査			約2時間
13. 企業戦略評価演習				
第12週において学んだ「企業戦略評価」の方法を用いて、グループ単位で疑似的にある企業を対象とした企業戦略評価を演習形式行う。演習では、グループ単位でまとめた企業戦略評価を発表しディスカッションを行う。				
予習	「経営戦略の基本」pp.166～169の事前調査			約2時間
復習	「経営戦略の基本」pp.166～169における具体的な事例の調査			約2時間
14. イノベーション戦略				
企業において新たな付加価値を生み出すイノベーションとは何か、どのようにイノベーションを発想していくかについて学ぶ。授業では、具体的な製品開発事例等を用いて、分かりやすくイノベーション戦略を理解してもらうようにする。				
予習	「経営戦略の基本」pp.189～193の事前調査			約2時間
復習	「経営戦略の基本」pp.189～193における具体的な事例の調査			約2時間
15. イノベーション戦略演習				
第14週において学んだ「イノベーション戦略」の手法を用いて、グループ単位で疑似的にある企業を対象としたイノベーション戦略を演習形式で検討する。演習では、グループ単位でまとめたイノベーション戦略案を発表しディスカッションを行う。				
予習	「経営戦略の基本」pp.194～200の事前調査			約2時間
復習	「経営戦略の基本」pp.194～200における具体的な事例の調査			約2時間
16. 試験				
試験により、学習内容の習得状況の確認する。				
予習				
復習				